

吉田財団設立40周年記念事業

令和7年度 教材活用状況報告書

公益財団法人吉田学術教育振興会
理事長 山倉修一 殿

学校名	福岡県立三潴高等学校
学校長名	山田 裕二
報告者	教頭 近藤 伸子
寄贈品	1.大型プロジェクター
《 振り返り 》	
教育的課題	1. プロジェクターの経年劣化による視認性低下 2. 大規模空間での教育活動への支障 3. 学校説明会における情報発信力の不足
教材活用の狙い	1. 広範囲会場における視認性の向上 2. 講演会や進路説明会等教育活動における学習効果の向上 3. 学校説明会での訴求力強化と生徒募集への貢献
目的達成の為の工夫	1. 教科授業での学習効果向上 2. 探究活動・発表能力の育成 3. 体育館での学びと学校生活の充実
《 教材活用の効果・成果 》	
活用状況及び、教育的課題の解決状況	教員による講話、外部講師による講演会、中学生対象の学校説明会等で活用した。その結果、以下の教育的課題の解決状況が見られた。 1. 映像教材の視認性向上と学習効果の向上 2. 臨場感ある講演・授業体験による知的好奇心の刺激 3. 学校説明会における受験生・保護者の関心喚起 4. 教育活動全体の質向上 5. 生徒募集活動の強化
対象者・利用頻度	生徒
目的達成状況	大型プロジェクターの導入により、授業・講演等で生徒の理解度・集中力・学習意欲・知的好奇心が大きく向上し、教育活動全体の質の向上に寄与した。
教育的効果についての所見等	大型プロジェクターを導入したことで、映像教材の視認性が向上し、生徒の理解度や集中力が高まった。また、講演会等で臨場感ある映像を活用し、知的好奇心の喚起が図られた。

活用状況の写真等(当日の様子など)



校長講話



規範意識講演会



学校説明会①



学校説明会②



城島夢まつり① (学校紹介ブース)



城島夢まつり② (学校紹介ブース)

今後の活用見通し・課題

今後は、映像教材や講演会での大型プロジェクター活用をさらに拡大することで、授業や特別活動の質向上や受験生・保護者の関心向上による生徒募集への貢献が期待される。一方で、機器の維持管理や教職員の操作習熟、従来の授業とのバランス確保、活用効果の定期的な評価などの課題にも対応する必要がある。